



校長室の窓から

座間市立東原小学校（電話253-3145）

東原小キャラクター「かめっち」

今日は1学期最終日を迎えました。ここ数日は大変な暑さの日が続き、熱中症計の暑さ指数は外遊びが不可を示す毎日でした。広い校庭は誰もいなくてがらんとした状態でしたが、校内では、最後の復習に取り組んだり、クラスレクを楽しんだり、夏休みの課題についての話を聞いたり、暑いながらもいつもと変わらぬ子どもたちの姿が見られました。いよいよ明日から楽しみにしていた夏休みに入ります。暑さ対策をしながら、充実した夏休みを送ってほしいと思います。2学期に会えるのを楽しみにしています。



5年生の家庭科・裁縫の授業



2年生のさつまいもの苗植え

感謝の気持ちを大切に！

子どもたちは、この1学期いろいろなことに力を注いで頑張ってきました。子どもたち自身の頑張りはとても大きいです。同時に忘れてはならないのは、たくさんの方々に見守られ、支えられているということだと思います。学校でも次のようにたくさんの方々に支援していただきました。

○PTA主催の梅雨イベント

“夏休みカウントダウン！「かめっちとだいぼうけん」というスタンプラリーを企画してくださいました。準備や当日の当番など大変だったと思いますが、子どもたちに楽しんでほしい！子どもたちの笑顔が見たい！という思いが込められていました。

○コミュニティ・スクールの応援隊の皆さん

1学期は、畑での苗植え（2年生）と家庭科の裁縫（5年生）でお世話になりました。1クラスに何人もの応援隊の方が入って、子どもたちに声をかけたり、教えたりしていただきました。子どもたちの大きな励みとなりました。収穫を楽しみにさつまいもの苗を植えることができたのは、応援隊の方の土づくりのおかげです。裁縫では「できた！」につながりました。「クリーン大作戦」では、きれいにしても次々生えてくる校庭外回りの草取りをしていただきました。本当に有難いです。

○交通指導員さん、自治会の方、近隣の西濃運輸の運転手さん

子どもたちが安全に安心して登下校できるようにと、暑い日も雨の日も、子どもたちを見守って挨拶の声かけをしてくださっています。学校の近くにある西濃運輸という会社の運転手さんは、横断歩道の少し手前で必ず止まってくれます。子どもたちと地域の人の安全をとっても大切に考えてくださっています。

こんなふうに見守ったり、支えたりしていただいていることは、当たり前のことではなく有難いことなんだという感謝の気持ちを持っていきたいと思ひます。